

■殺虫剤：農業用

I GR系

マトリック®フロアブル

登録番号：20309

毒性：－

消防法：－

有効年限：4年

成分 クロマフェノジド……5.0%

物理的・化学的性状 類白色水和性粘稠懸濁液体

包装：500ml×20

◆特長

- チョウ目幼虫に高い効果があり、老令幼虫にも的確な効果を発揮します。
- ハチや多くの天敵類に殆ど影響がなく、IPM（総合的病害虫管理）に適合した薬剤です。

◆適用と使用方法

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロマフェノジド を含む 農薬の総使用回数	
りんご	－	ケムシ類 ヨモギエダシヤク	2,000倍	200～700ℓ / 10a	収穫14日 前まで	2回 以内	散布	2回以内	
		ハマキムシ類	1,000～ 2,000倍						
なし		ケムシ類	2,000倍		収穫前日 まで	3回 以内			3回以内
おうとう グアバ (果実)		ハマキムシ類	1,000～ 2,000倍						
			2,000倍						
もも		モモハモグリガ	1,000倍		収穫前日 まで				
うめ		モンクロシャチホコ	2,000倍	収穫3日 前まで					
メロン きゅうり		ウリノメイガ		収穫前日 まで					
はくさい		ヨトウムシ	1,000～ 2,000倍	収穫7日 前まで	4回 以内	4回以内			
ブロッコリー				100～300ℓ / 10a	収穫前日 まで	3回 以内		3回以内	
だいこん		ヨトウムシ	2,000倍	収穫7日 前まで					
		ハイマダラノメイガ							
レタス	ハスモンヨトウ	1,000～ 2,000倍	収穫21日 前まで						
非結球レタス	ハスモンヨトウ	2,000倍							

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロマフェノジド を含む 農薬の総使用回数	
ね ぎ わ け ぎ あ さ つ き ほうれんそう	-	シロイチモジヨトウ	1,000～ 2,000倍	100～200ℓ / 10 a	収穫 7 日 前まで	3 回 以内	散布	3 回以内	
だ い ず		ハスモンヨトウ	2,000～ 3,000倍	100～300ℓ / 10 a	収穫前日 まで				無人ヘリ コプター による散布
			8～16倍	800ml/10 a					
稲		コブノメイガ	1,000倍	100～200ℓ / 10 a	収穫 7 日 前まで	2 回 以内	散布	2 回以内	
			16倍	800ml/10 a			無人ヘリ コプター による散布		
な す		-	ハスモンヨトウ	2,000倍	100～300ℓ / 10 a	収穫前日 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
ト マ ト			オオタバコガ	1,000～ 2,000倍		収穫 7 日 前まで			
ミニトマト						収穫前日 まで			
ピーマン						収穫 7 日 前まで			
ししとう			ハスモンヨトウ	2,000倍		収穫 7 日 前まで	4 回 以内		
いちご	ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ		収穫 7 日 前まで						
キャベツ	ヨトウムシ類		3 回 以内	3 回以内					
非 結 球 あぶらな科 葉 菜 類	ハスモンヨトウ		2,000倍	収穫 7 日 前まで		2 回 以内	2 回以内		
し そ				収穫 7 日 前まで ただし、 伏せ込み 栽培は伏 せ込み前 まで					
				み つ ば		収穫 7 日 前まで			
せ り		水田		収穫 7 日 前まで					
せ り (水耕栽培)		ガラス室 等の温室		3 回 以内	3 回以内				
パセリ オクラ	-	-	-	収穫前日 まで	2 回 以内	2 回以内			
はすいも (葉柄)				2 回 以内	2 回以内				

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用 方法	クロマフェノジド を含む 農薬の総使用回数	
さやえんどう 実えんどう	－	ハスモンヨトウ	2,000倍	100～300ℓ / 10 a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	3回以内	
えだまめ			2,000～ 3,000倍						
てんさい		ヨトウムシ	1,000～ 2,000倍	100～150ℓ / 10 a	収穫14日 前まで	4回 以内		4回以内	
しょうが		ハスモンヨトウ	2,000倍	100～300ℓ / 10 a	収穫前日 まで	3回 以内		3回以内	
未成熟 とうもろこし		アワノメイガ							
やまのいも		ハスモンヨトウ							
みずいも		水田			ハスモンヨトウ				
さといも		－	ハスモンヨトウ ナカジロシタバ	1,000～ 2,000倍	200～400ℓ / 10 a	摘採7日 前まで		2回 以内	2回以内
かんしょ			チャノコカクモハマキ チャノホソガ						
茶		－	チャハマキ ヨモギエダシヤク	1,000倍	100～300ℓ / 10 a	発生初期		4回 以内	4回以内
きく	ハスモンヨトウ	2,000倍	シロイチモジヨトウ						
トルコギキョウ	ケムシ類			－	5回 以内	5回以内			
樹木類									

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

## ◆注意事項

- (1) 散布液調製時には、容器をよく振とうすること。
- (2) 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および栽培方法に合わせ調整すること。
- (3) 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合はさらに次の注意を守ること。
  - ① 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施すること。
  - ② 少量散布（16倍液）の散布には、微量散布装置以外の散布器具は使用しないこと。
  - ③ 無人ヘリコプターによる散布にあたっては散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
  - ④ 散布中、薬液の漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
  - ⑤ 散布終了後は次の項目を守ること。
    - a) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。
    - b) 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は、河川等に流さないこと。また、空容器は水産動物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- (4) 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、桑に付着するおそれのある場所では使用しないこと。
- (5) 本剤を無人ヘリコプターによる散布に使用する場合は、水源池、飲料用水、養殖池等に本剤が飛散流入しないよう十分注意すること。
- (6) 本剤は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意すること。

- (7)本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (8)適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (9)取扱及び保管上の注意、漏出時の措置、廃棄上の注意、輸送上の注意、火災時の措置については、11ページ、12ページを参照すること。

#### ◆安全使用上の注意

- (1)本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。使用後は洗眼すること。
- (2)かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- (3)街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないように注意を払うこと。

#### ◆魚毒性

この登録に係る使用方法では該当がない。